重点分野４　飲酒・喫煙

事業名	41	健康づくり普及啓発事業（飲酒）	所管課	健康増進課
内容	イベント，依頼の健康教育，出前講座等の中で飲酒に関する啓発や出前講座を実施			
期待する効果	アルコールの健康影響や適正飲酒量についての理解が深まり，生活習慣全体の課題として認識され，「食事・運動・飲酒・喫煙」等健康づくりを総合的に捉えて取り組む人が増える。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市民健康づくり推進員連絡協議会，沼南支所，図書館		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期 ○
				青壮年期 ○
				高齢期 ○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 啓発実施者数（飲酒）	↑	―	233人	93人	150人
	②					
	③					

評価	図書館や沼南支所のロビーで「飲酒と健康生活ハンドブック」を配架した。また依頼の健康教育では，天伸株式会社に脂肪肝について保健師が講話を行った。
今後の方向性	幅幅広く啓発ができるよう，商業施設等のイベント時や文化祭等でハンドブックやチラシ配布を行っていく。

事業名	42	アルコール健康障害対策事業	所管課	保健予防課
内容	精神科医師や職員によるアルコール等に関する相談。 アルコール依存症者等を対象にしたミーティング，減酒のためのプログラム，普及啓発を実施。			
期待する効果	アルコール関連問題について，早期に相談に応じることができる。市民がアルコール依存症や関連問題について理解を深めることができる。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	精神科医療機関，柏断酒新生会		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期 思春期
				青壮年期 ○
				高齢期 ○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① アルコール等悩みごと相談	↑	11件	19件	16件	
	② アルコール関連事業（アルコールリカバリーミーティング，減酒プログラム等）	↑	158人	193人	118人	
	③					

評価	相談や各事業への利用ニーズは一定程度あるが，対象者は限定的であった。 今後は，市民がより相談しやすい体制を整えるための工夫やアルコール関連問題に対応する支援者や理解者を増やしていくための働きかけを行っていく必要がある。
今後の方向性	引き続き，市民への普及啓発に取り組む。 市民が相談しやすい体制を整えるため，地域の支援者に向けて研修会を実施する。

重点分野４　飲酒・喫煙

事業名	43	妊娠届出受理と母子健康手帳交付事業（飲酒）	所管課	母子保健課
内容	・妊娠届出受理時，専門職が面談をして，こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認し，早期に支援を開始する。 ・妊娠届出受理の面談時に飲酒状況を確認。飲酒による健康リスクの啓発を行い，必要に応じ支援に繋いでいる。			
期待する効果	・妊娠や出産への不安が高い方やうつ病の疑いのある方に対し，早期発見・早期支援ができる。 ・妊娠期から飲酒による健康リスクの啓発を行い，早期支援ができる。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	庁内関係各課 産科医療機関等	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
			○	○	

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 母子健康手帳交付状況	減	2,864人	2,823人	2,901人	2,900人
	② 母子健康手帳交付時の専門職の面談率	横ばい	100%	100%	100%	100%
	③ 妊娠届出時の妊婦の飲酒率	減	0.30%	0.40%	0.40%	0.00%

評価	・妊娠届出受理時に専門職（保健師，助産師等）による全数面接を実施。書面上では把握出来ない気分の落ち込みや不安の有無等を面談にて確認。要支援家庭を早期に把握し，必要な支援に繋げた。 ・妊婦等包括相談支援を含めた妊婦のための支援給付金と連携し，切れ目のない支援体制の強化に取り組んだ。 ・産科医療機関や精神科医療機関と連携を図り，メンタルヘルスの問題を抱える妊産婦の支援を強化した。 妊娠届出時点での飲酒状況を確認し，飲酒による妊婦および胎児への健康リスクをリーフレット等を活用し，説明と啓発を実施。
今後の方向性	・市内４か所の妊娠子育て相談窓口（TeToTe，柏市役所，ウェルネス柏，沼南支所）にて，専門職（保健師，助産師等）による全数面接の継続。 ・周産期におけるメンタルヘルスに関して，関係機関との連携を強化。 ・市内４か所の妊娠子育て相談窓口による，専門職による全数面接にて，飲酒による健康リスクの啓発を継続。

事業名	44	たばこ対策推進事業	所管課	健康増進課
内容	喫煙による健康被害の軽減を目的に啓発等を行う。具体的には未成年者の喫煙を抑止を目的としたノースモッ子新聞の作成，配付，禁煙を希望する人への情報提供ツールとして，禁煙外来および禁煙支援薬局マップの作成および配付			
期待する効果	未成年者への喫煙に関する正しい知識の普及啓発，成人の喫煙率の低下			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会，柏歯科医師会，柏市薬剤師会 柏市小中学校，環境サービス課，学校保健課 少年補導センター，千葉県　等	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
			○	○	○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 小中学校等での出張講座（ノースモッ子作戦）	↑	18校	22校	22校	22校
	②					
	③					

評価	薬剤師等が対面での講義を実施し，より直接的な啓発教育の実施することができている。
今後の方向性	学校と連携し，未成年者の喫煙抑止，たばこの正しい知識の普及啓発を目的に出張講座を継続する。

重点分野４　飲酒・喫煙

事業名	45 健康づくり普及啓発事業（喫煙）	所管課	健康増進課
内容	イベント，依頼の健康教育，出前講座等の中でたばこの害・受動喫煙に関する啓発を実施		
期待する効果	「喫煙はがんだけでなく心筋梗塞・脳卒中・糖尿病など生活習慣病にも関係する」と、喫煙問題が生活習慣全体の課題として認識され，「禁煙＋運動＋食生活改善＋適正飲酒」といった総合的な健康行動を考えるきっかけになる。		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	薬剤師会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会，沼南支所，図書館	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 啓発実施者数（喫煙）	↑	2,102人	1,189人	109人	1,000人
	②					
	③					

評価	図書館や沼南支所ロビーで「禁煙サポートかしわ」や「COPD周知チラシ」の配架による啓発を実施。R7年度は配布する資料が少なく啓発実施者数が減った。 柏市民健康づくり推進員が地域の文化祭で「柏ノースモッ子新聞」の配布を行った。
今後の方向性	幅幅広く啓発ができるよう，商業施設等のイベント時や文化祭等でチラシ配布を行っていく。配布資料の整備を行う。

事業名	46 受動喫煙対策推進事業	所管課	健康増進課
内容	改正健康増進法に基づき，受動喫煙の実態と健康影響を市民に正しく伝え、家庭・職場・公共空間における受動喫煙の機会を減少させることを目的とし，，禁煙に積極的に取り組むお店を認証する「おいでよ！カシワニ禁煙ステッカー等配付事業」や「世界禁煙デー」「受動喫煙防止キャンペーン」に合わせた普及啓発を実施する。		
期待する効果	望まない受動喫煙の減少		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会，柏歯科医師会，柏市薬剤師会 柏市小中学校，環境サービス課，母子保健課，千葉県等	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① おいでよ！カシワニ禁煙ステッカー登録店（累計）	↑	107店	109店	109店	109店
	②					
	③					

評価	飲食店経営者から問い合わせの多い「喫煙室の設置について」新たにチラシを作成，配付をしたり，母子保健部門と連携し乳幼児の保護者向けにサードハンドスモークのチラシを配布するなど，正しい知識の普及啓発に努めた。
今後の方向性	法改正の趣旨に基づき，適正な運用ができていない事業所への助言や指導を継続し，受動喫煙防止を推進していく。また，法に定められた配慮義務を周知していくことで，望まない受動喫煙を減少させていく。

重点分野４　飲酒・喫煙

事業名	47	ぽい捨て等防止事業	所管課	環境サービス課			
内容	啓発看板・路面シール・横断幕の設置等の啓発を行い，ぽい捨て及び路上等喫煙の防止を図る。						
期待する効果	ぽい捨てごみ及び路上等喫煙の減少						
関係課 関係機関 （民間企業含む）	防災安全課		ライフステージ		乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
					△	○	△
実績値 及び 次年度指標	項目		目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	①	過料徴収件数	↓	439件	349件	331件	
	②						
	③						
評価	通常のパトロールに加え，市民からの苦情や情報提供に応じて，該当する箇所の巡回を実施し，違反者の注意・指導を行い，滞在時間や巡回コースの工夫を行った。 また，ぽい捨て防止看板の設置，路上喫煙等防止の路面シールの設置などを継続し，効果的な啓発に取り組んでいる。 さらに，６・９・１２・３月に柏駅及び柏の葉キャンパス駅周辺における路上等喫煙及びぽい捨ての実態を把握するために散乱ごみ実態調査を行うとともに，ぽい捨て等防止を呼びかけながら柏市内の各駅前での巡回を行った。						
今後の方向性	市民からの要望や現地の状況を踏まえながら，各駅周辺におけるパトロールの実施や，マナー意識向上のための啓発など，ぽい捨て及び路上等喫煙防止のための取組を実施していく。						

重点分野５　歯と口の健康

事業名	48	フレイル予防事業（歯と口の健康）	所管課	地域包括支援課
内容	主に高齢者に対するフレイル（介護予防）事業のうち，口腔機能や嚥下をテーマとしたプログラムについて，歯科医師，歯科衛生士，言語聴覚士等が講座を行う。			
期待する効果	高齢期の必要なに口腔機能に関する周知により，口腔機能低下を防ぎ，フレイルを予防する			

関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏歯科医師会，柏歯科医師会附属歯科介護支援センター，地域包括支援センターなど	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				△	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① フレイル予防・健康づくり出前講座参加者数	↓	131人	342人	188人	
	② 地域包括支援センター主催の教室参加者数	↑	16人	77人	120人	
	③ フレイルハイリスク者への個別支援件数	↓	6件	19件	13件	

評価	令和７年度はサロンなどの活動が活発化したことから，地域包括支援センター主催の教室開催や参加者数が増加した。フレイル予防出前講座では，相対的に他講座の受講が増加したことで，減少した。フレイルチェック等からのハイリスク者個別支援数は減少したが，支援対象者の早期把握や継続的なフォローにより，自身の心身の変化への気づきや予防行動の定着につなげることができた。 令和７年度も同様に，各地域でフレイルチェックや出前講座，地域包括支援センター主催事業を実施し，市民の意識・行動変容（口腔機能の改善）につながるよう働きかけていく。
今後の方向性	今後もフレイル予防の中での「口腔」をテーマとして講座を継続的に開催していく。 ハイリスク者への集団支援（フレイルチェックや講座），個別支援を継続する。

事業名	49	訪問口腔衛生指導事業補助金	所管課	地域医療推進課
内容	訪問調査並びに口腔ケアの指導や一般市民への啓発事業，多職種連携事業等への訪問口腔衛生指導事業に対する補助金の交付			
期待する効果	・在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けることにより，口腔機能を維持し，生活の質の向上を図る。 ・市民が，在宅療養状態になっても，安心して歯科治療を受けることができる環境整備。			

関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏歯科医師会	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
					○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 訪問口腔衛生指導（訪問口腔ケア）を実施した方の口腔機能向上	↑	85%	98%	88%	
	②					
	③					

評価	歯科衛生士の訪問調査（口腔診査）により，対象者の約９割が治療につながった。また，口腔ケアや摂食嚥下リハビリ等の実施により，生活の質の向上につながった。施設や病院，事業所の職員への口腔ケアの講話ならびに老人会やサロンへ介護予防の講話については，職員側では知識や情報の共有を通じ利用者や患者への対応に変化がでている他，高齢者側では歯科へ関心向上，セルフケアの向上につながっている。また，多職種と連携し，介護予防に対する歯科の役割を啓発した。
今後の方向性	令和８年度も，本補助事業を継続し，市民の口腔機能の維持向上，生活の質の向上につなげていくとともに，多職種連携の中で訪問口腔衛生指導事業の推進を図る。

重点分野５　歯と口の健康

事業名	50 健康づくり普及啓発事業（歯と口の健康）	所管課	健康増進課
内容	イベント，依頼の健康教育，出前講座等の中で口腔衛生に関する啓発を実施		
期待する効果	市民の口腔ケア習慣や歯科受診率が改善し、むし歯や歯周病の早期発見につながるとともに、口腔衛生が生活習慣病予防に関係するという理解が広がる		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市民健康づくり推進員連絡協議会，沼南支所，図書館	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 啓発実施者数（歯・口腔の健康）	↑	804人	450人	846人	900人
	② 依頼の健康教育参加者数（講師：歯科衛生士）	↓	18人	76人	65人	80人
	③ 柏市民健康づくり推進員による各地域での開催	↑	―	―	15回	18回

評価	公式SNSや各種イベント等において，デンタルフロス等を添付した口腔ケアに関するリーフレットの配布や健康教育を実施し，歯と口の健康に関する普及啓発を行った。参加者からは，歯科受診の必要性や口腔の健康への理解が深まったとの反応がみられた。また，生活習慣病やフレイルと関連付けた講座を実施することで，口腔の健康が全身の健康と密接に関係することへの理解を促進した。今後は，若年層や働く世代を中心とした効果的な情報発信を進めるとともに，セルフケアの実践や定期的な歯科受診を促し，具体的な行動変容につながる取組を強化する。
今後の方向性	ライフステージや対象者の特性に応じた効果的な普及啓発を継続するとともに，ホームページやSNS等のデジタル媒体と健康教育を組み合わせた情報発信の充実を図る。また，デンタルフロス等の口腔ケアグッズを活用し，セルフケアの実践を促すとともに，生活習慣病予防やフレイル予防など，全身の健康との関連を踏まえた啓発を推進する。さらに，関係機関と連携し継続して歯と口の健康づくりに取り組める環境整備を進める。

事業名	51 歯周病検診事業	所管課	健康増進課
内容	対象者（満20,30，40，50，60歳）に個人通知を行い，委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周病検診を実施する。		
期待する効果	・歯周病は歯の喪失の主な原因であり，歯周病の発症予防・重症化予防ができる。 ・かかりつけ歯科医を持ち，定期受診につながる。		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏歯科医師会	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期： 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 歯周病検診受診率(40歳)	↑	7.3%	6.8%	8.4%	10.0%
	② 進行した歯肉炎を有する者の割合（40歳）	↓	36.9%	47.0%	45.1%	25.0%
	③ 未処置歯を有する者の割合（40歳）	↓	36.7%	38.6%	37.0%	10.0%
	④ 喪失歯のない者の割合（40歳）	↓	92.9%	92.9%	93.2%	75.0%

評価	歯周病の早期発見・早期治療を目的として歯周病検診を実施し，対象者への受診勧奨や普及啓発を行った。また，受診券のデザインを工夫するなど，受診しやすい環境づくりに取り組んだことで，歯周病検診受診率を維持することができた。
今後の方向性	引き続き，対象者の特性に応じた効果的な受診勧奨を実施するとともに，歯周病検診を一過性の受診で終わらせることなく，受診を契機としてかかりつけ歯科医を持ち，継続的な受診につながるよう，柏歯科医師会と連携しながら，普及啓発及び受診勧奨を推進していく。

事業名	52	特殊歯科診療事業支援事業	所管課	地域医療推進課
内容	一般的な診療が難しい障害児・者，高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付			
期待する効果	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減と生活の質向上			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医療公社，柏歯科医師会		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	R５実績	R６実績	R７実績	R８指標
	① 患者数	―	3,799人	3,721人	3,222人	
	②					
	③					

評価	一般の歯科診療所では治療が困難な患者に対する歯科診療の運営および摂食嚥下指導実施の補助であることから，必要性の高い事業であるという認識のもと，引き続き本補助事業を継続し該当患者の生活の質向上に努めていく。
今後の方向性	引き続き必要な方が適切な医療が受けられる体制を確保していく。

事業名	53	母子歯科保健	所管課	母子保健課
内容	乳幼児における歯や口の健康づくりに関する健診・相談・教育・啓発等及び環境整備			
期待する効果	・健康格差の縮小 ・持続的な健康づくりのための環境整備			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏歯科医師会，柏市認定こども園協議会，柏市私立認可保育園協議会，柏市私立幼稚園協会，教育委員会，保育運営課，子育て支援課		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期： 高齢期：

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	R５実績	R６実績	R７実績	R８指標
	① 小学校1年生むし歯罹患率	減	22.80%	19.60%	18.40%	
	② 小学校のむし歯罹患率の差	減	42.8ポイント	37.3ポイント	52.6ポイント	
	② 中学校のむし歯罹患率の差	減	58.4ポイント	38.0ポイント	38.2ポイント	
	③ フッ化物洗口実施施設の増加	増	－	5	43	

評価	エビデンスに基づいたむし歯予防対策として，フッ化物洗口事業を幼稚園・保育園・こども園で実施しており，実施園数が5園から41園に大幅な増加となった。また，小学校についてはモデル校2校で開始され，健康格差の縮小を目指した取り組みが展開できている。
今後の方向性	健康格差の解消のため，これまでの「健診や健康教育」だけでなく，環境整備に資する施策を展開する。また，エビデンスに基づいた集団を対象としたむし歯予防の効果が期待できるフッ化物洗口を拡大するために，小学校以降の効率的な運用方法の確立を目指す。

重点分野５　歯と口の健康

事業名	54 健康かむかむ補助金事業	所管課	健康増進課
内容	柏歯科医師会が主催する地域歯科保健医療啓発の一環であり，各種コンクール実施，表彰，口腔がん検診，市民向け口腔啓発企画等へ補助を行う		
期待する効果	フェスタやスタンプラリーを通じて市民が楽しく口腔衛生を学び、口腔がん検診によって早期発見を促進する。また取り組みにより，受診率の向上と予防意識の定着を図り、地域全体の健康づくりに貢献することに期待している。		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏歯科医師会，教育委員会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 健康かむかむ運動参加者数	↑	1,177人	1,115人	1,140人	
	② 口腔がん検診受診者数	↑	170人	154人	201人	
	③					

評価	地域に出向き住民とふれあいながらの啓発を実施した。柏歯科医師会の公式YouTubeを配信し，歯や口の健康づくりを身近に感じられるような内容を作成した。
今後の方向性	関係機関と連携を図りながら，各ライフステージにあった媒体を活用し，必要な情報提供・発信を実施していく。

事業名	55 【再掲】母子歯科保健	所管課	母子保健課
内容	乳幼児における歯や口の健康づくりに関する健診・相談・教育・啓発等及び環境整備		
期待する効果	・健康格差の縮小 ・持続的な健康づくりのための環境整備		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏歯科医師会，柏市認定こども園協議会，柏市私立認可保育園協議会，柏市私立幼稚園協会，教育委員会，保育運営課，子育て支援課	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期： 高齢期：

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 小学校1年生むし歯罹患率	↓	22.80%	19.60%	18.40%	
	② 小・中学校のむし歯罹患率の差	↓	42.8ポイント	37.3ポイント	52.6ポイント	
	③ フッ化物洗口実施施設の増加	↑		5	43	

評価	エビデンスに基づいたむし歯予防対策として，フッ化物洗口事業を幼稚園・保育園・こども園で昨年度からモデル園で実施し，今年度実施園が増加している。また，小学校についてはモデル校2校で開始され，健康格差の縮小を目指した取り組みが展開できている。
今後の方向性	健康格差の解消のため，これまでの「健診や健康教育」だけでなく，環境整備に資する施策を展開する。また，エビデンスに基づいた集団を対象としたむし歯予防の効果が期待できるフッ化物洗口を拡大していく。